

がんの早期発見・早期治療に

人間ドックが必要なワケ

葛城病院 内科部長 坂本洋城

【早期発見のための人間ドックの役割】

2016年の日本人の平均寿命は83・7歳で世界首位です。日本の男女別では、女性が86・8歳と世界で二位、男性が80・5歳と世界6位であります。現在、日本人の死因は、がんが約30%、心疾患が15%、脳血管障害と肺炎がそれぞれ10%、その他が35%であり、今や

日本人の約3人に1人ががんになってい

ます(図1)。また、男女ともに2人に1人が一生でがんになる

と言われています(図2)。がんの芽を早期に見つけ、治療を始めれば治癒されることもできるため、がんで見つからないためには早期発見、早期治療が必須です。

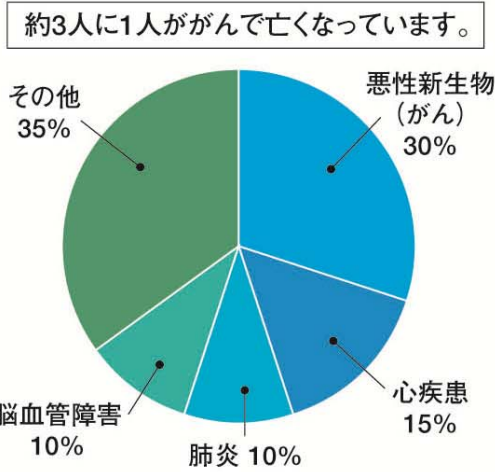
がんは初期の場合、自覚症状が現れないことが多いため、早期発見を行うためには人間ドックを利用した定期的な検診が効果的といわれています。人間ドックによって詳細な検査を行うことより、がんなどの早期発見、早期治療が重要な病気を早く見つけることができます。がんの早期発見、早期治療により治療率は高く、治療費用も安価で済むようになるケースがあるため、医療費の削減にも繋がります。

【詳細な検査結果が得られる人間ドック】人間ドックは会社で実施される定期健康診断や自治体で実施される特定健康診査よりも検査項目が多く多岐にわたります。特にオプションを含め、健康診断では受けることができないがん関連の検査項目が充実しており、がんの早期発見に欠か

せません。また、希望に応じて検査項目を追加できるため、遺伝的要素の高い病気などのリスクをお持ちの方は重点的に調べることができ、リスク管理ができるでしょう。

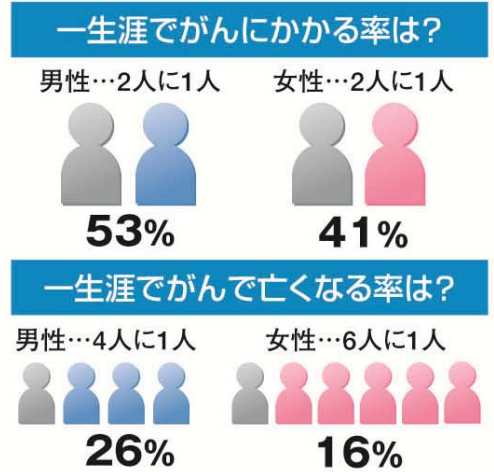
健診で異常がない人も人間ドックで異常が見つかることがあります。これまで受けたことのない人も、ぜひ人間ドックを受診頂きたいと思えます。

【図1】日本人の死因



約3人に1人ががんで亡くなっています。

【図2】 国立がん研究センター『最新がん統計』



内科部長
坂本洋城
＜専門分野＞
消化器全般、胆膵疾患(膵臓癌)
＜資格＞
日本消化器病学会専門医・評議員
/日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員/日本超音波医学会専門医/日本外科病理学会評議員/日本内科学会認定医/日本医師会認定産業医/日本緩和医療学会緩和ケア指導者研修会修了/日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士

市民健康講座 入場無料

「消化器内科シリーズ」を開講します
時間…各日 14:30～16:00

- 第23回 知って得する「健康の話」
～人間ドックでわかること～
9月27日(火) 消化器内科 坂本洋城
- 第24回 知って得する「肥満の話」
～放っておくと怖い脂肪肝～
10月18日(火) 消化器内科 中沢 啓
- 第25回 知って得する「腸の話」
～病院に行く前に自分でできる胃腸の診断～
11月15日(火) 消化器内科 西岡 伸

☆介護相談コーナー☆
各回終了後にケアマネジャーが無料で相談をお受けします。
ご自身の身の回りや、ご家族の介護などで心配事はありますか?
場所: 葛城病院 2階研修室
お申込み・お問合せは、地域医療連携室まで



医療法人大植会 葛城病院

TEL.072-422-9909(代) 岸和田市土生町2-33-1

【外来診療時間】 9:00～11:30/13:00～16:00/17:00～19:30 ※科目により時間が異なります

- 【診療科目】 ●内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●血液内科 ●糖尿病内科 ●外科 ●心臓血管外科 ●消化器外科 ●肛門外科 ●整形外科 ●脳神経外科 ●形成外科 ●リウマチ科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●眼科 ●リハビリテーション科 ●放射線科
【センター】 ●下肢静脈瘤治療センター ●健診センター ●人工関節センター ●脊椎外科センター